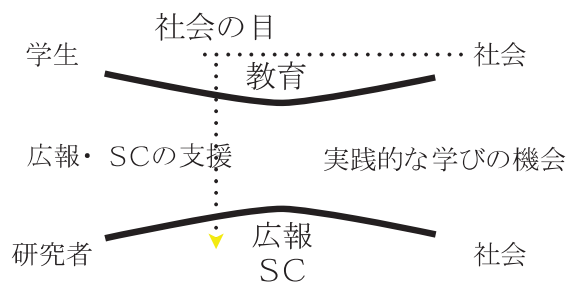


修了後の活躍の形態

お手元の資料(最終ページ)をご覧ください

SCの教育と実践との統合



タイムリーな情報発信ができる

2010年10月6日 受賞発表



2010年11月10日

2010年12月13日 書籍発行

コンテンツ制作と「対話の場」の創出

- 📍 「対話の場」の必要性
 - 🔗 H17年版「科学技術白書」で
- 📍 サイエンスカフェ
- 📍 さらに「深い対話」を
 - 🔗 熟議(=熟慮+討議)をめざして

たとえば、討論型世論調査

- 📍 James Fishkin らが開発
- 📍 世界17カ国で実施
- 📍 世論調査 + 討論
 - 🔗 「熟議を経た市民の意見」を政策に

討論型世論調査の実際 昨秋、BSE問題をテーマに実施

1 回目アンケート

情報冊子を読む

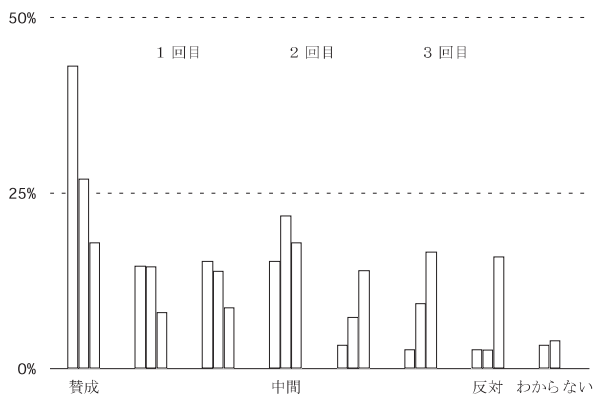
2 回目アンケート

会場に集まって

ビデオを見る
市民どうして議論
専門家に質問

3 回目アンケート

「BSE全頭検査は必要だ」という意見に



食の安全・安心 (BSE問題) をテーマに、討論型世論調査



科学技術コミュニケーターの役割

- 🎤 ファシリテーション
- 🎤 討論型世論調査の企画・運営
 - 公正性の確保、専門家との協力
- 🎤 情報資料・ビデオの作成
- 🎤 コンテンツ制作と「対話の場」の創出は、不可分

コンセンサス会議、という手法も

- 🎤 「ふつうの市民」15人ほどを公募
- 🎤 専門家との質疑応答
- 🎤 市民だけで、提言をまとめる
 - 深い議論

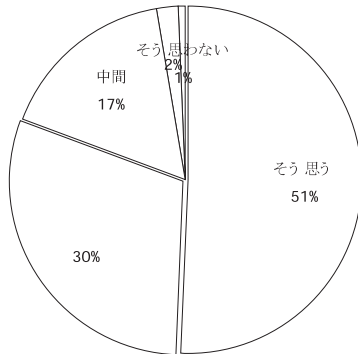
日本での実施例

- 🎤 遺伝子治療 (1998年)
- 🎤 遺伝子組換え作物の栽培 (2006~07年)
 - 北海道主催、CoSTEP協力
 - 道の委員会に答申
- 🎤 ナノテクの食品への利用 (2008年)
- 🎤 研究者・企業にもメリット



「他の参加者の意見が参考になった」

討論型世論調査の場合

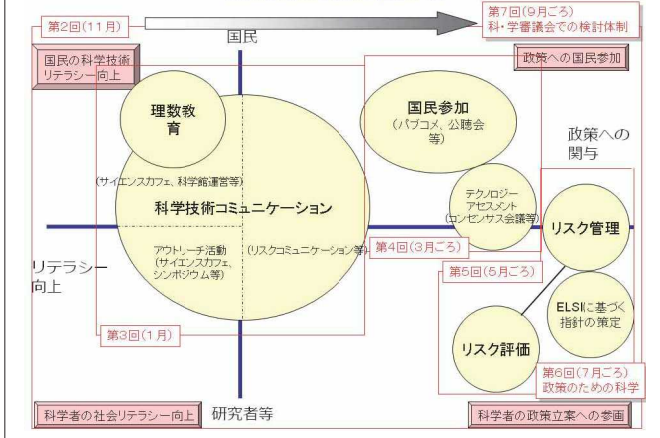


SCのカバー範囲は、広い

- 👤 リスク・コミュニケーションも含む
- 👤 「対話の場」の創出は、コンテンツ制作と連動

社会と科学技術イノベーションの関係深化に係る取組 (イメージ案)

(実施目的と対象者の観点から)



まとめ

- 👤 皆にメリットがある方式を！
- 👤 SC人材育成とSC実践(広報)を結びつける
- 👤 研究者にもメリットが
 - 理系の人材育成と同様
 - 研究者と社会との対話が進む
- 👤 SCのカバー範囲は、広い
 - 👤 コンテンツ制作と「対話の場」の創出は、不可分
 - 👤 リスク・コミュニケーションなども含む

皆にメリットがある

- 👤 学ぶ者に
- 👤 取りあげられる者に
- 👤 運営する者に

THE END

CoSTEP修了生の活躍の形態

2005～08年度の修了者236名に対する調査(2009年度実施)にもとづく

- 仕事として(フルタイムで)科学技術コミュニケーションを行っている 35名
- 研究・教育機関以外で
例: 新聞記者、新聞社の事業部で科学館との連携事業、科学書の編集、科学館で展示企画、自治体でリスクコミュニケーション、市民参加型教室の企画
 - 研究・教育機関で
例: 科学コミュニケーションの教育・研究、大学・研究所で広報業務担当
 - フリーランスで(ライター、デザイナー、ファシリテーターなど)
例: 著述業、ワークショップでのファシリテーター、ポスターデザイン、イベント企画運営、書籍イラスト作成
 - 科学技術コミュニケーションを大学院で研究
- 仕事の一環として、科学技術コミュニケーションを行っている 45名
- 例: 研究所一般公開のときにサイエンスカフェを開催、气象台や林産試験場などで市民向けの広報活動、自分の研究を出前授業する、異なる研究分野でのコミュニケーションを促進する活動、所属する学会での市民向け活動の強化
- 仕事とは別に、科学技術コミュニケーション活動を行っている 36名
- 科学イベントの開催など
例: サイエンスカフェの企画運営、実験教室・出前授業の開催、科学館でのボランティア、家庭教育学級の主宰、市民を対象に夜学校の開催
 - 科学記事の執筆など
例: 新聞や雑誌への科学記事執筆、JSTサイエンスポータル特派員
- 教育活動に、科学技術コミュニケーションの手法を活かしている 8名
- 例: 高校の理科教員として双方向性を重視した授業を展開、授業を進めるときにファシリテーションの手法を活用
- その他(コミュニケーションの改善に活用) 11名
- 例: 北海道歯科女医会の役員として広報活動の改善、運行乗務員への飛行計画・気象状況等のブリーフィングでプレゼンテーション力を活用

